小谷小だより

E-mail:kodani-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

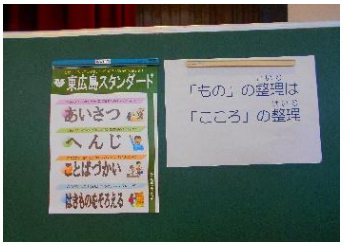
第　６　号
令和８年
１０月２１日

後期が始まりました！

～後期は１００日～（卒業生は９８日）～



　１０月１５日（木）、後期がスタートいたしました。本年度の登校日も残すところ「あと約１００日」となります。
　さて、校長先生から子供たちへ、後期を過ごす上での大切な心構えについてお話がありました。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。



　後期には「学習発表会」や「親子持久走大会」など、日頃の成果を発揮する大切な行事が控えています。校長先生からは、行事に向けて「自分でしっかりと目標を決め、それに向かって努力すること」の大切さが伝えられました。また、日頃の生活の基盤となる「東広島スタンダード」の４つの基本について、改めて確認しました。基本は、①あいさつ　②返事　③ことばづかい　④はきものをそろえるの４つです。「ことばづかい」は、場に応じた言葉遣いをしようという話をされました。特に「はきものをそろえる」ことについては、身近な「トイレのスリッパ」を例にお話がありました。脱いだスリッパを次に使う人のためにそろえる行動は、「人のことを考える心（思いやり）」そのものです。身の回りの小さな配慮から、お互いを大切にする気持ちを育てていくことを話されました。さらに「ものを大切に使えば、心が整う」「物の整理は心の整理」という言葉が贈られました。身の回りの整理整頓を心がけ、物を丁寧に扱う姿勢は、落ち着いた心や生活態度を生み出します。
　後期も一日一日を大切に積み重ね、子供たちが充実した毎日を送ることができるよう、教職員一丸となって支援してまいります。後期もどうぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

資源回収へのご協力、ありがとうございました！



　１０月３日（土）、財政部、総務部の方を中心に「PTA 資源回収」を実施いたしました。朝早くから、地域を回って資源を回収していただいたり、届けられた資源をトラックに載せていただいたりして誠にありがとうございました。当日の収集・作業を支えてくださった PTA 役員の皆様・保護者様・地域の皆様にも心より感謝申し上げます。今回の収益金は、子供たちの学校生活をより豊かにするための活動や環境整備に大切に使わせていただきます。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。



校内の環境整備をいつもありがとうございます!



　地域センター長の定本さんが、草刈りをして、校内の環境整備をしてくださいました。整った環境の中、子供達は安心して笑顔で、活動することができています。いつも、子供達のためにありがとうございます。

野外活動に行ってきました！（５年生）



５年生は「福山少年自然の家」において、１泊２日の野外活動を実施いたしました。普段の便利な生活から一歩離れ、大自然のなかで仲間と過ごす時間は、子供たちにとって新鮮で刺激的な体験の連続でした。SAF プログラム・ウォークラリー・キャンプファイヤー・野外炊飯など、学校の教室では味わえない数々の体験を通して、自然の尊さや集団で過ごす大切さを身をもって感じ取ることができました。今回の野外活動では、「協力・感謝・自分から」という目標を掲げて取り組みました。



時間を守って行動することの大切さや、また、困っている友達に声をかけたり、互いに励まし合ったりしながら課題をクリアしていく中で、友情の絆が一段と深まったと感じています。また、身の回りのことや準備・片付けを自分たちの手で行う中で、普段当たり前のように支えてくれているご家族への感謝の気持ちを再認識する機会にもなりました。今回の野外活動で得た「仲間と協力することの素晴らしさ」や「自分から行動する大切さ」は、これからの学校生活に欠かせない大きな財産です。高学年として、また一歩大きく成長した５年生が、この学びを今後に生かし、学校のリーダーとしてさらに活躍してくれることを期待しています。



車いす体験をしました（３年生）

９月３０日（水）、３年生の福祉教育の一環として「車いす体験」を実施いたしました。

当日は、社会福祉協議会、西の池学園、そして地域の民生委員の皆様にお越しいただき、車いすの操作方法や介助する際のポイントについて丁寧にご指導いただきました。

体験学習では、子供たちが交代で「車いすに乗る側」と「車いすを押す側（介助する側）」の両方を体験しました。実際に乗ってみると、わずかな段差や傾斜でも恐怖感や進みにくさを感じること、そして後ろから押してもらうときの安心感や不安感を身をもって実感することができました。今回の体験を通して、子供たちは単に車いすの扱い方を学んだだけでなく、「車いすを利用されている方の立場や気持ち」に目を向ける大切さを深く実感した様子でした。「街や学校で困っている人がいたら声をかけたい」「自分にできるお手伝いを考えたい」といった感想も聞かれ、相手の立場に立った配慮や思いやりの心が確実に芽生えています。



全国学力・学習状況調査の結果について

下の表は、今年度の全国学力・学習状況調査の結果で、正答率とは、設問毎に正答した児童の割合を示したものです。今回の結果では、算数につきましては県平均と同程度となったものの、国語につきましては県平均を下回るという結果となりました。本校では、今回の調査結果を基に、小谷小学校全体の課題を詳しく分析し、具体的な指導の手立てや改善策を検討いたしました。学級や学年ごとにそれぞれの課題が見られますが、「その学年でつけるべき力は、その学年のうちにしっかりと身につけさせる」ことを最優先とし、基礎・基本の定着から応用力へと着実に学力を積み上げていくことができるよう、日々の授業改善や学習指導に取り組んでいきます。

平均正答率	国語	算数
小谷小	５６	５８
広島県	６４	５８